

第50期（2021年度）事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

事業概要

全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加の一途を辿り、子どもたちが直面する現実の厳しさを増しています。当財団では児童養護施設をはじめとする児童福祉に携わる実務者をサポートすることで子どもの成長を後押しするための活動や、社会的養護下におかれた子どもたちのスムーズな自立を応援する活動、児童養護施設や里親の元で暮らす児童の進学を支援する活動、児童福祉に関する情報誌の出版を通じた社会に向けた啓発活動等を実施しています。

活動一覧

当財団は、研修、助成、啓発の3つを事業領域としています。2021年度は以下の内容で実施しました。

研修事業

1. 児童福祉分野で働く職員に向けた研修

資生堂児童福祉海外研修は1972年の開始以来、児童福祉業界の中核人材を約700名輩出しており、児童福祉領域におけるリーダーの育成や業界全体としての専門知識の底上げに寄与しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症を鑑み、研修国フランスとオンラインで結んだ研修を実施しました。

東アジア児童福祉職員交流研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

○ 資生堂児童福祉海外研修

開催時期	2022年1月6日（木）～2月12日（土）の間に5日間の自宅参加研修を1回と2泊3日の集合研修を4回実施
訪問国	フランス
研修形態	オンライン研修（渡航なし）
研修団	10名（団長：1名、団員：8名、特別講師：1名）

2. 児童または青少年に向けた研修

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちが、自立してからも地域社会で安心・安定した生活をおくるための生活スキル習得や、コミュニケーション力を高める研修を行っています。児童からの参加希望が年々増加していることから優先順位の高い活動と位置づけ、協賛企業と協働しながら活動を実施しています。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、当財団が主催する自立支援セミナー及び身だしなみ講座提供のすべてをオンライン開催としました。スターターズセミナーは、全国3会場で開催し、社会への巣立ちフェスティバルは、東京・神奈川・千葉の児童養護施設在籍児童または里子の高校3年生に向けて実施しました。

○ 自立支援「スターターズセミナー」

開催時期	2021年10月～12月
開催内容	自立生活に必要なコミュニケーションや「身だしなみ講座」の提供等のセミナーを開催し、のべ127名が参加
開催地域	愛知県、岐阜県・滋賀県（合同開催）、茨城県 計3地域
研修形態	オンライン

○ 自立支援「社会への巣立ちフェスティバル」

開催時期	2022年3月5日（土）
開催内容	社会へ巣立ちの後押しと円滑な自立の支援のため「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、のべ169名が参加
研修形態	オンライン

○ 自立支援「身だしなみ講座」提供

開催地域	①大阪府 7月11日（日）
開催時期	②愛媛県 8月22日（日）
研修形態	オンライン
参加児童数	①139名 ②21名 計160名



助成事業

1. 個人・団体に対する助成

社会的養護に置かれている子どもたちを支援する団体の中から、当財団の目指す方向性が一致する団体の活動へ助成を行っています。2021年度もNPO STARSや全国児童家庭支援センター協議会が主催する研修会等に助成を行いました。

- 子どものしごとフェスティバル in 東京 (NPO STARS)
- 家庭養育機能支援子育てワークショップ研修会 (日本キリスト教児童福祉連盟)
- 全国児童家庭支援センター協議会実務者研修 (全国児童家庭支援センター協議会)
- 児童虐待防止に向けたセミナー・イベント 等

2. 児童または青少年に向けた助成

○ 資生堂児童福祉奨学金

児童福祉施設や里親の元から自立し、社会福祉士や保育士など児童福祉分野での活躍を希望して大学・短期大学・専門学校に進学している学生16名に対し、入学金や授業料の一部として年間50万円（上限）を返済不要で支援しました。金銭以外の支援として、4回のオンライン交流会も実施し、奨学生同士の絆を深める機会を創出しました。

また奨学生への支援をより強化するため、2022年度以降の奨学金の給付方法につき、使途の制限を設けず毎月定額3万円（4・10月のみ10万円）とし年間50万円を支給することが理事会で承認されました。

啓発事業

○ 情報誌「世界の児童と母性」の発行

児童福祉に関する研究発表の場の提供や、児童福祉の現場の課題解決に繋げるための情報提供を目的とする情報誌「世界の児童と母性」を発行しています。1975年の創刊以来、児童福祉分野の有識者や経験豊富な実務者に参画いただき、施設で働く方々への有益な情報を提供してきました。2021年度も、変わりつつある児童福祉を取り巻く環境を見極め、より時代に合った内容や構成を目指して下記の内容で発行しました。

号数	題名	発行時期
89号	「コロナ禍と社会的養護の明日」	2021年4月
90号	「子どもの『レジリエンス』と『受援力』を高める一切れ目のない支援の実現に向けて」	2021年10月



「社会への巣立ちフェスティバル」開催の様子



資生堂児童福祉海外研修 開催の様子



12月に開催した奨学生クリスマス交流会の様子

活動の様子はFacebookで報告しています。
右に記載のQRコードからは是非ご覧ください。

